

H26 実施

施策評価

施策コード	担当課名	
311	学校教育課	教育総務課

【施策の概要】

施策体系	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち		
	政策	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する		
	施策名	1	生きる力と夢を育む学校教育の推進		
基本方針		変化の激しい社会に対応できるよう、学校教育の中で、子どもの心、能力、体をバランスよく育て、生きる力と夢の持てる教育を推進します。そのため、心の教育の充実を図りながら、たくましい児童生徒の育成と、各学校の実情に合わせた特色ある学校づくりを推進します。			
施策展開	1	心の教育の充実	4		
	2	特色ある学校づくりの推進	5		
	3	児童・生徒の健康と体力の向上	6		

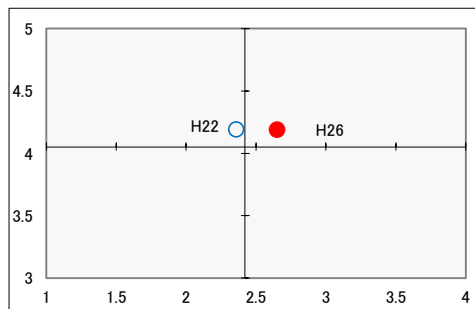
【目標指標】

指標名		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H32 目標	指標の説明
読書が好きな子どもの割合(%)	実績	57.0	58.0	59.5	60.3	78.5	74.9		80	学校教育課調べ
	達成率	71.3%	72.5%	74.4%	75.4%	98.1%	93.6%			
学校教育が充実していると答えた割合(%)	実績	34.9	26.5	34.1	39.1	32.3	32.1		50	まちづくり市民アンケート
	達成率	69.8%	53.0%	68.2%	78.2%	64.6%	64.2%			
	実績									
	達成率									

【まちづくり市民アンケート】

①	学校教育が充実している	●
②		▲
③		■

縦軸:重要度



横軸:満足度

【分析・評価】

第一次評価 (担当課)	目標指標分析	前年度と比較し若干の減少がみられるが、読書の好きな子供の割合はおおむね定着してきており、少しずつ成果が表れてきている。また、授業の中でも積極的に活用されている。	構成事務事業の 適切性	適当である。
	施策実現に向けての課題	活用できる国県の事業が縮小してきている。	今後の施策の 取組・改善策	活用できる新たな補助事業等を探りながら、一般財源の更なる充実を図っていく。
	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 成果縮小		
第二次評価 (第二次評価会議)	総合評価	個別支援については、保護者への理解を求めながら、他の児童生徒への影響についても配慮をする必要がある。また重要性に鑑み財源措置について、国・県への支援要望を継続強化していくことが必要。		

【施策を構成する事務事業 11】

施策展開	事業番号	事務事業名		事務事業コード	担当課	H26予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
						事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H25実績値	目標値	H25決算(単位:千円)			(1次評価) 予算配分の方向性の判断要因 (△、◇、×の場合のみ)			
			成果指標	H25実績値	目標値	事業費	特定財源	人件費				
1	01	教育相談事業		311-101-62	学校教育課	5,536	0	6,966	高	◎	⇒	
独自		不登校傾向及び不登校である児童生徒の減少を図り、各小中学校への復帰につなげる。児童生徒の悩みや不安を解消し、学校生活や社会生活に適應できるように支援する。	教室の開設数(回)	130	130	6,589	1,010	6,966				
一般会計			不登校児童生徒数(人)	20	19	5,081	260	4,281				
1	03	児童生徒の個別支援事業		311-103-62	学校教育課	26,956	0	2,568	高	◎	↗	⇒
独自		発達障害等により、普通学級での学習に遅れがちな児童生徒を支援するため個別学習指導員を配置し、学級全体の学習活動の充実を図る。	個別学習指導員等の配置数(人)	17	20	22,172	0	2,568				
一般会計			実態に応じた個別指導体制の該当児童生徒数(人)	34	-	23,243	20,782	1,729				個別指導の必要な児童生徒は増えており、学校から人員増の要望が高い。 (二次評価)制度として配置基準が必要である。
2	01	学校支援地域本部事業		311-201-62	学校教育課	21,573	9,400	1,790	高	◎	⇒	
独自		小中学校における学校図書館の整備及び機能の充実と、学校と地域の連携体制の構築を図るため、地域コーディネーターを配置し、読書好きな児童生徒を増やすとともに学力の向上を目指す。	地域コーディネーターの配置校数(校) (H23までは学校図書館員)	14	14	18,296	11,641	1,790				
一般会計			児童生徒年間一人平均貸出冊数(%)	78	85	18,250	9,809	1,070				
2	02	教育研究所運営事業		311-202-62	学校教育課	109	0	1,012	高	◎	⇒	
独自		教育に関する調査研究、教員の研修により、教育計画の樹立と資質向上、教育実践の充実を図る。	講座・委員会数	10	10	106	0	1,012				
一般会計			講座・研修会数	35	30	81	0	659				
2	03	学力等検査事業		311-203-62	学校教育課	4,629	0	778	高	◎	⇒	
独自		児童生徒の学力の到達度を評価し、結果を指導法の改善に役立て、学力の伸長を図る。	学力検査実施教科数(教科)	6		5,037	0	778				
一般会計			標準学力検査(小学校6年・算数)の偏差値平均(偏差値)	51	55	3,569	0	588				
2	04	国際理解教育・外国語教育推進事業		311-204-62	学校教育課	13,474	0	3,580	高	◎	⇒	
独自		児童生徒の国際理解教育及び外国語教育の充実のため。	地域の外国語指導講師やALT2名の外国語等活動授業時数(h)	1,380	580	11,848	0	2,802				
一般会計			標準学力検査(中学校2年・英語)の偏差値平均(偏差値)	50	51	10,227	0	2,140				
2	07	学校経営指導事業		311-207-62	学校教育課	0	0	7,861	高	法定	⇒	
法定		適切な学校経営がなされるように、研修や訪問等を通して、指導を行う。	学校訪問指導日数(日)	26	28	0	0	7,861				
一般会計			—			0	0	9,467				
2	09	教育研究センター運営事業		311-209-61	教育総務課	18,988	0	78	中	法定	⇒	
法定		教職員の質・指導力の向上と児童生徒の確かな学力の定着を図る。	講座・研修会開設数(回)	57	90	15,472	0	78				
一般会計			標準学力検査(中学校2年・理科)の偏差値平均(偏差値)	50	55	17,573	0	82				
3	01	学校保健対策事業		311-301-62	学校教育課	21,514	1,408	4,825	高	法定	⇒	
法定		各種検診・検査を実施し、児童生徒の健康の保持増進と学校保健の積極的な推進を図るため。	学校医・学校歯科医配置人数(人) (内科、眼科、耳鼻科、歯科)	57	57	21,683	1,400	4,825				
一般会計			児童生徒の定期健康診断受診(内科)割合	99	100	20,486	1,425	5,104				
3	02	小中学校給食管理運営事業		311-302-62	学校教育課	79,357	0	57,049	高	法定	⇒	
法定		児童及び生徒の心身の健全な発達に資すると共に、生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養い、学校給食の普及充実及び学校における食育の推進を図る。	献立検討会の開催回数(回)	11	11	80,000	0	57,049				
一般会計			学校給食における県産・地場産食材の使用割合	39	50	77,102	0	68,326				

【施策を構成する事務事業 11】

施策展開	事業番号	事務事業名	事務事業コード	担当課	H26予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
					事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H25実績値	目標値	H25決算(単位:千円)			(1次評価) 予算配分の方向性の判断要因 (△、◇、×の場合のみ)		
						事業費	特定財源	人件費			
H24実績値	目標値	H24決算(単位:千円)									
		事業費	特定財源	人件費	事業費	特定財源	人件費				
3	03	学校教育体育・文化振興事業	311-303-62	学校教育課	1,755	0	389	高	◎	⇒	
独自	児童生徒が個人又は団体として、県大会を勝ち進んで東北大会以上の大会に出場する場合には出場奨励費を支給し、学校教育におけるスポーツ活動及び芸術文化活動の振興を図るため。	申請額に対する支給割合(%)	95	100	933	0	389				
一般会計		大会出場数の伸び率(対前年費)	125	100	862	0	247				
合計					193,891	10,808	86,896				
					182,136	14,051	86,118				
					176,474	32,276	93,693				

施策評価

施策コード	担当課名	
312	学校教育課	教育総務課
	社会教育課	

【施策の概要】

施策体系	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち		
	政 策	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する		
	施 策 名	2	地域に根ざした学校教育の充実		
基本方針	地域に密着した教育を推進するため、地域や高等教育機関等と連携しながら教育環境の充実に向けた取組を推進します。また、新庄市の特色である中学校区単位での小中連携事業を充実させながら、小中一貫教育に向けた取組を推進します。				
施策展開	1	小中一貫教育の推進	4		
	2	地域の学校づくりの推進	5		
	3	高等教育機関等との連携及び活用	6		

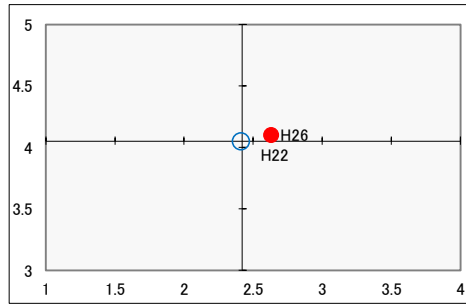
【目標指標】

指 標 名		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H32 目標	指標の説明
小中一貫カリキュラム実施率(%)	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6		100	中学校区毎の小中一貫カリキュラムを実施している割合(学校教育課調べ)
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	28.6%			
子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携がとれていると答えた割合(%)	実績	32.8	26.6	38.2	34.4	30.1	33.0		50	まちづくり市民アンケート
	達成率	65.6%	53.2%	76.4%	68.8%	60.2%	66.0%			
	実績									
	達成率									

【まちづくり市民アンケート】

①	子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携がとれている	●
②		▲
③		■

縦軸:重要度



横軸:満足度

【分析・評価】

第一次評価 (担当課)	目標指標分析	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育校基本計画の考え方が徐々に浸透してきている。(学校教育) ・小中一貫教育校実施計画の2年度目となり、校名等の具体的な項目が次々に決定されてきており、着実に進展している。(教育総務) 	構成事務事業の 適当性	適当である。
	施策実現に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・萩野地区小中一貫教育校の開校に向けての実施計画の策定とともに、他中学校区の小中一貫教育の更なる充実が求められる。(学校教育) ・萩野学園開校に向け、多大な事業費と広範な準備業務(ハードとソフト両面)を適時的確に進める必要がある。(教育総務) ・高等教育機関である山形大学と連携しながらフィールドワークを実施し、それにより、地域と学生との交流が図られ、充実した取組みとなっているが、学生を受け入れている地域が高齢化の問題もあり、今後も持続していけるかが課題である。(社教) 	今後の施策の 取組・改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画策定委員会の取組みの充実と、各中学校区ごとの小中一貫教育推進協議会において評価検証していく。(学校教育) ・実施計画策定委員会の3部会及び作業部会の活動を効果的に進め、具体的事項を着実に達成していく。また、小中一貫教育内容について更に広く周知を図る。(教育総務) ・萩野地区以外の4中学校区に推進協議会を設置し、市全域での小中一貫教育の充実を図っていく。(教育総務) ・新庄市では、市として特色ある7つのプログラムを用意し、学生を受け入れているが、今後も学生のニーズを把握しながら、必要であればプログラムに修正を加えるなど、より充実した施策が図れるよう取り組んでいく。(社教)
	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 成果縮小		
第二次評価 (第二次評価会議)	総合評価	小中一貫校開校に伴う廃校となる校舎については、除去の方向性を明確にするべき。 山大エリアキャンパスもがみ運営事業については、マスコミを活用し活動状況等について、市民に対し情報提供するべき。		

【施策を構成する事務事業 4】

施策展開	事業番号	事務事業名		事務事業コード	担当課	H26予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
						事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H25実績値	目標値	H25決算(単位:千円)			(1次評価) 予算配分の方向性の判断要因 (△、◇、×の場合のみ)			
			成果指標	H25実績値	目標値	事業費	特定財源	人件費				
1	01	小中一貫教育推進事業		312-101-62	学校教育課	2,104	0	12,141	高	◎	⇒	
	独自	学校教育の様々な課題を解決するため、学力向上、生徒指導の充実、「ふるさと学習」の充実、小中教職員との協働の視点から小中連携をさらに進化させた小中一貫教育を導入する。	小小交流、小中交流、教師の乗り入れ授業等の回数	27		1,293	0	5,915	策定委員の報酬分は減少する。			
	一般会計		友人関係、教師との関係が原因の不登校件数	0	0	825	0	5,351				
1	02	小中一貫教育校新設事業		312-102-61	教育総務課	1,698,867	1,501,854	10,974	高	◎	⇒	↓
	独自	義務教育9年間、児童生徒が同じ敷地内で学校生活を送る「萩野地区施設一体型小中一貫教育校」を、地域の意向を尊重しながら、地域に根ざした小中一貫教育のモデル校として設置する。	地元への説明会実施回数(延)	12	16	1,039,836	938,441	8,639	平成26年度から考えると予算額は減少する。			
	一般会計		施設一体型小中一貫教育校設置数	0	1	93,099	88,500	9,138				
2	01	学校のつばさ支援事業		312-201-62	学校教育課	4,500	0	2,335	高	◎	⇒	
	独自	各小中学校が地域と連携しながら、地域に開かれた特色ある学校づくりを推進するとともに、自主的で創造的な取組みを通して、児童生徒一人一人の主体的な活動を育み、「生きる力」の育成を図る。また、全市民を挙げて教育を見つめる気運を高めるとともに、より良い教育環境づくりを推進する。	委託先学校数(市内小中学校数)(校)	14	14	4,300	0	2,335	市の独自施策であるが、委員会の中でしっかりと学校側の審査を行うべきである。			
	一般会計		家庭・地域を巻き込んだ研修会等への参加人数(人)	966	1,000	3,900	0	1,070				
3	01	「山大エリアキャンパスもがみ」運営事業[フィールドワーク事業]		312-301-63	社会教育課	266	0	1,401	中	○	⇒	
	独自	高等教育機関のない最上地域に大学の機能を誘致し、地域住民と教員・学生が交流することによって地域の活性化を図る	フィールドワーク受け入れ人数	69	50	251	0	1,401				
	一般会計		フィールドワーク受け入れ機会	7	6	163	0	1,564				
合計						1,705,737	1,501,854	26,851				
						1,045,680	938,441	18,290				
						97,987	88,500	17,123				

H26 実施

施策評価

施策コード	担当課名	
313	教育総務課	学校教育課

【施策の概要】

施策体系	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち		
	政策	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する		
	施策名	3	安全安心な教育環境の整備		
基本方針	子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、登下校を含めた生活全般での安全を確保します。また、安全で快適な学校施設の整備を促進します。				
施策展開	1	学校施設の整備・充実	4		
	2	登下校の安全安心の確保	5		
	3		6		

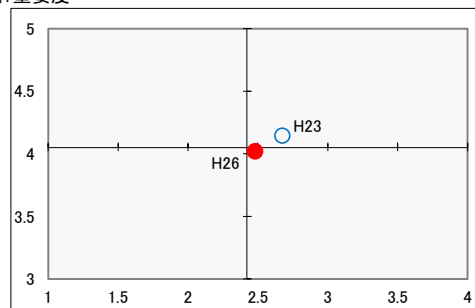
【目標指標】

指標名	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H32 目標	指標の説明
小・中学校施設の耐震化率(%)	実績	39.1	47.8	60.9	64.4	73.9		100	(昭和57年以降に建築された建物の棟数+耐震基準を満たしている棟数) / 全棟数(教育総務課調べ)
	達成率	39.1%	47.8%	60.9%	64.4%	73.9%			
交通事故の発生件数(件)	実績	9	6	20	2	4		0	児童生徒の交通事故発生件数(学校教育課調べ)
	達成率	-	-	-	-	-			
	実績								
	達成率								

【まちづくり市民アンケート】

①	学校施設・設備が充実している	●
②		▲
③		■

縦軸: 重要度



横軸: 満足度

【分析・評価】

第一次評価 (担当課)	目標指標分析	<ul style="list-style-type: none"> 施設の耐震化は前倒しで進んでおり、今年度中には完了する見込みである。(教育総務) 前年度と比較し、若干増加した。(学校教育) 	構成事務事業の 適当性	概ね適当である。
	施策実現に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> 施設の非構造体の耐震化をどうするか。(教育総務) 学校施設設備等の老朽化改善計画を策定する必要がある。(教育総務) 通学路の安全点検を教育総務課と連携して実施しているが、改善が図られていない箇所が依然としてある。(学校教育) 	今後の施策の 取組・改善策	<ul style="list-style-type: none"> 9年間で子どもを育てる小中一貫教育を根幹に据え、安全安心な教育環境を確保するため、学校施設の計画的整備を図っていく。(教育総務) 学校、関係機関と連携して、危険個所の改善に取り組む必要がある。(学校教育)
	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 成果縮小		
第二次評価 (第二次評価会議)	総合評価	情報教育推進のPC契約内容等を早期検討すべきと判断される。		

【施策を構成する事務事業 9】

施策展開	事業番号	事務事業名			事務事業コード	担当課	H26予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
		事業区分	目的	活動指標			H25実績値	目標値	事業費			特定財源	人件費
会計	成果指標				H25実績値	目標値			H25決算(単位:千円)			予算配分の方向性の判断要因 (?、△、×の場合のみ)	
		事業費	特定財源	人件費									
1	01	学校図書館図書整備事業			313-101-61	教育総務課	6,000	0	1,634	高	○	⇒	
	独自	新学習指導要領が示す「言語力の育成」を目指す	蔵書数(冊)	96,744	111,302	4,000	0	3,191					
	一般会計		図書整備達成学校数(校)	4	14	4,000	0	1,729					
1	02	学校教材備品整備事業			313-102-61	教育総務課	7,770	0	1,634	中	▲	⇒	
	独自	新学習指導要領を受けて、新たな教材整備計画を策定し、主要教科の授業時数増に対応できる教材備品の整備を図る。	1学校当りの事業費の均等割配分額(千円)	240	175	7,624	0	2,024					
	一般会計		1学級あたりの平均備品整備額(円)	50,493	210,000	4,903	0	2,964					
1	03	学校理科教材整備事業			313-103-61	教育総務課	1,050	525	1,634	中	▲	⇒	
	独自	小中学校における理科の学習環境の整備を図る。	交付実施学校数(校)	3	3	1,049	524	1,634					
	一般会計		理科設備備品現有総額(目標は国の基準額)(千円)	43,876	53,000	1,050	525	1,729					
1	04	情報教育推進事業			313-104-61	教育総務課	22,494	0	3,191	中	○	↗	
	独自	学校教育における情報教育の充実を図るため、小中学校におけるICT環境の整備を図る。	教職員1人1台の校務用PC配備の継続	282	278	24,210	0	856					
	一般会計		電子黒板の活用回数(全校年間平均回数)	412	414	30,886	11,676	906					
1	05	学校施設整備・管理事業			313-105-61	教育総務課	309,341	0	71,865	中	○	⇒	
	独自	児童生徒の安全と適切な学校経営のため、学校施設を管理・整備していく。	小中学校修繕金額(千円)	37,494		216,049	0	71,865					
	一般会計		計画修繕実施率(%)	78	100	134,787	0	81,332					
1	06	学校施設耐震化事業			313-106-61	教育総務課	69,460	66,210	5,448			×	
	独自	児童、生徒が1日の大半を過ごす学習・生活の場である学校施設(小中学校施設)の地震に対する安全を確保するために、耐震化を推進する。	耐震診断(2次)実施済棟数(棟)	24	24	310,646	293,185	5,448					
	一般会計		耐震化済みの棟数(棟)	34	46	352,568	306,992	6,174					
2	01	通学手段確保対策事業			313-201-61	教育総務課	71,000	7,710	5,837	中	○	⇒	↘
	独自	遠距離通学となった児童・生徒に対し、スクールバス等の運行を行い、通学手段の確保を図る。また、通学以外の空き時間を利用し校外学習・大会等で活用する。	スクールバス総運行日数(日)	1,424	2,519	16,154	0	4,670					
	一般会計		スクールバス等通学利用者数(人)	196	406	14,791	0	4,116					
2	02	安全安心通学プラン推進事業			313-202-61	教育総務課	0	0	1,946	中	○	↗	×
	独自	新庄市の教育をめぐる環境変化に応じて、平成19年2月答申「新庄っ子」の安全安心通学プランの実現を図る。	スクールバスその他通学用バスの配備台数(台)	10	15	0	0	2,101					
	一般会計		小学校区・中学校区のスクールバス等利用地区数	43	76	5,565	2,500	2,058					
2	03	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業			313-203-62	学校教育課	548	308	311	高	◎	⇒	
	独自	各学区・地域が連携して子どもの安全を図るため、登下校の見守り活動や通学路の安全点検を行う。	安全指導員の見守り活動日数	46		548	337	311					
	一般会計		交通事故発生件数	4	0	549	308	494					
	合計						487,663	74,753	93,500				
							580,280	294,046	92,100				
							549,099	322,001	101,502				

H26 実施

施策評価

施策コード	担当課名	
321	社会教育課	

【施策の概要】

施策体系	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち		
	政策	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る		
	施策名	1	生涯にわたる学びの推進		
基本方針	市民一人ひとりの価値観やライフスタイルが多様化する中、市民の学習ニーズに対応した多様な学習情報と学習機会の提供に努めます。また、生涯を通じて学びたいときに誰もが学べるよう、生涯学習施設の充実を図ります。				
施策展開	1	多様な学習機会の提供	4		
	2	生涯学習施設の充実	5		
	3		6		

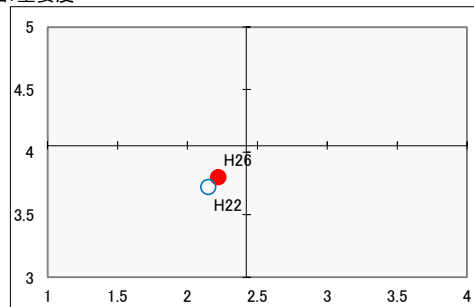
【目標指標】

指標名		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H32 目標	指標の説明
図書貸出冊数(冊)	実績	161,367	151,544	155,057	150,114	152,512			200,000	社会教育課調べ
	達成率	80.7%	75.8%	77.5%	75.1%	76.3%				
生涯学習施設稼働率(%)	実績	41.8	40.2	32.0	32.0	32.2			50	市民プラザ、わくわく新庄、雪の里情報館の施設稼働率の平均(社会教育課調べ)
	達成率	83.6%	80.4%	64.0%	64.0%	64.4%				
	実績									
	達成率									

【まちづくり市民アンケート】

①	生涯学習の場が充実している	●
②		▲
③		■

縦軸:重要度



横軸:満足度

【分析・評価】

第一次評価 (担当課)	目標指標分析	図書貸出冊数がH21に比べ減少してきており、最上地域全体の人口減少による影響も大きい。また、施設稼働率は、横ばい状態である。	構成事務事業の 適当性	生涯にわたる学びの推進を図るため、適当な事業である。
	施策実現に向けての課題	幅広い世代への事業展開により、従来では比較的低い利用層への働きかけが必要とされる。	今後の施策の 取組・改善策	各施設の設置目的などを勘案しながら、指定管理者との連携を図り、施設ごとに特色のある事業展開を実現していく。
	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 成果縮小		
第二次評価 (第二次評価会議)	総合評価	一次評価のとおり		

【施策を構成する事務事業 5】

施策展開	事業番号	事務事業名		事務事業コード	担当課	H26予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
						事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H25実績値	目標値	H25決算(単位:千円)			(1次評価) 予算配分の方向性の判断要因 (△、◇、×の場合のみ)			
			成果指標	H25実績値	目標値	事業費	特定財源	人件費				
1	01	国際理解推進事業		321-101-63	社会教育課	0	0	467	中	○	⇒	
独自		世界にはさまざまな民族や文化、宗教、価値観があることを理解し、多文化共生の理念を育む。	日本語教室参加(登録)者数(人)	16	40	0	0	467				
一般会計			交流事業(延)参加者数(人)	9	40	0	0	412				
2	02	市民プラザ管理事業		321-202-63	社会教育課	37,569	0	1,090	中	○	⇒	
独自		本市における生涯学習の推進並びに市民の生活文化の振興及び社会福祉の増進を図る。	利用者数(人)	93,618	104,000	34,486	0	1,090				
一般会計			施設稼働率(%)	26	35	63,563	33,249	1,564				
2	03	図書館管理事業		321-203-63	社会教育課	43,433	156	1,090	中	○	⇒	
独自		図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする。	利用者数(人)	86,654	95,000	44,008	0	1,090				
一般会計			貸出冊数(冊)	152,512	160,000	40,878	0	1,564				
2	04	雪の里情報館管理事業		321-204-63	社会教育課	19,212	0	1,090	中	○	⇒	
独自		雪害救済運動発祥の地としての業績を永く未来につたえらるとともに、雪及び雪国文化に関する学習、研究の場の提供や雪国他地域との交流などを積極的にすすめる。雪のふるさとづくりの推進を目的とする。	利用者数(人)	14,066	20,000	17,945	0	1,090				
一般会計			施設稼働率(%)	29	40	19,417	0	1,564				
2	05	わくわく新庄管理事業		321-205-63	社会教育課	17,054	0	1,090	中	○	⇒	
独自		本市における生涯学習の推進及び市民の生活文化の振興並びに社会福祉の増進を図る。	利用件数(件)	3,172	3,500	17,045	0	1,090				
一般会計			施設稼働率(%)	46	50	16,347	0	1,564				
合計						109,546	0	4,827				
						113,484	0	4,827				
						140,205	33,249	6,668				

H26 実施

施策評価

施策コード	担当課名	
322	社会教育課	総合政策課

【施策の概要】

施策体系	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち		
	政策	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る		
	施策名	2	活力みなぎる地域活動の推進		
基本方針		市民が地域において主体的に活動するための学びを支援するとともに、活動拠点の環境整備を進め、地域を支える人材の育成を図ります。			
施策展開	1	地域における活動の環境整備	4		
	2	地域を支える人材の育成	5		
	3		6		

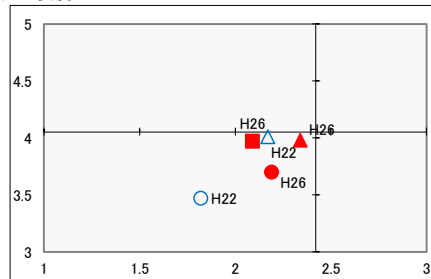
【目標指標】

指標名		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H32 目標	指標の説明
公民館機能を保有していない町内会数(町内)	実績	28	28	28	28	28			0	地域活動に集会施設等を利用していない町内会数(社会教育課調べ)
	達成率	-	-	-	-	-				
市民活動に対する支援が充実していると答えた割合(%)	実績	9.4	6.5	16.6	16.3	12.6	16.0		20	まちづくり市民アンケート
	達成率	47.0%	32.5%	83.0%	81.5%	63.0%	80.0%			
	実績									
	達成率									

【まちづくり市民アンケート】

①	市民活動に対する支援が充実している	●
②	青少年が健全に育成されている	▲
③	地域を支える人材が育成されている	■

縦軸:重要度



横軸:満足度

【分析・評価】

第一次評価 (担当課)	目標指標分析	<ul style="list-style-type: none"> 新たな地域公民館の設置はない。市民活動に対する支援指標については、H25に下がったが、H26になって戻った。(社教) 市民活動について、さらに認知度を高めていく必要がある。(総合政策) 	構成事務事業の 適当性	適当である。
	施策実現に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域公民館については、修繕等への補助要望が増えている。(社教) 産業、経済、福祉、文化など、それぞれの分野で活躍している優れた人や団体の認知度の向上。(総合政策) 	今後の施策の 取組・改善策	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動の拠点施設である地域公民館への補助の充実。(社教) 市民活動交流ひろば「ぷらっと」を活動拠点として、更なる、情報の発信、収集に努め、市民活動の認知度を高めていく。(総合政策)
	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 成果縮小		
第二次評価 (第二次評価会議)	総合評価	一事評価のとおり		

【施策を構成する事務事業 9】

施策展開	事業番号	事務事業名		事務事業コード	担当課	H26予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
						事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H25実績値	目標値	H25決算(単位:千円)			(1次評価) 予算配分の方向性の判断要因 (?, ◯, × の場合のみ)			
			成果指標	H25実績値	目標値	事業費	特定財源	人件費				
						事業費	特定財源	人件費				
1	01	地区公民館管理事業		322-101-63	社会教育課	23,393	318	934	中	▲	↘	
独自		生涯学習の場としての施設環境を管理整備し、市民が利用しやすいようにする。	利用団体数(件)	1,436	1,500	16,241	374	934	角沢ふれあい交流広場整備事業の完了			
一般会計			利用者数(人)	15,822	18,000	11,601	337	1,564				
1	02	地域公民館整備助成事業		322-102-63	社会教育課	5,000	0	623	中	○	⇒	
独自		地域活動の拠点となる公民館の新築、改築、土地購入及び改修などへの補助を行い、地域の社会教育活動の推進を図る。	事業告知回数(回)	2	2	1,000	0	623				
一般会計			助成町内件数(件)	7	5	275	0	1,317				
2	01	青少年育成推進員設置事業		322-201-63	社会教育課	110	50	1,401	中	○	⇒	
独自		青少年育成市民会議との連携及び活動推進、青少年の非行防止及び青少年に有害な環境の浄化など、各種活動を通して、地域における青少年の育成指導並びに青少年健全育成運動を推進することを目的とする。	児童参加型事業の回数(回)	3	5	110	50	1,401				
一般会計			活動回数(回)	25	20	110	50	1,152				
2	02	新庄市青少年育成市民会議事業		322-202-63	社会教育課	1,389	1,389	1,790	中	○	⇒	
独自		次代を担う青少年の健全な育成を図るため、青少年を取り巻く家庭、学校、地域、行政等が相互に連携し環境づくりを進める。	事業の実施回数(回)	21	22	1,337	1,337	1,790				
一般会計			事業の参加者数(人)	1,838	1,209	1,379	1,379	1,976				
2	04	成人式開催事業		322-204-63	社会教育課	63	0	1,401	中	○	⇒	
独自		式典の開催により、新成人になったことを祝い、自覚を促し、地域を支える人材の育成を目的としている。	成人対象者数(人)	491		58	0	1,401				
一般会計			成人式参加率(%)	70	70	50	0	2,387				
2	06	高校生ボランティア体験事業		322-206-63	社会教育課	30	0	1,323	中	○	⇒	
独自		高校生にとってボランティア活動は豊かな学びの場であり、将来的に地域で活動する人材の育成にもつなげる。	ボランティア活動を行った回数(回)	15	15	30	0	1,479				
一般会計			しずく登録者数(人)	0	20	0	0	741				
2	07	市民活動支援事業		322-207-63	社会教育課	4,907	1,180	1,323	中	○	⇒	
独自		地域社会の課題解決や発展のために市民活動団体が行う様々な活動を支援し、地域を支える人材・団体の育成を行う。	ぶらっと利用者数(人)	2,825	3,200	4,641	992	1,323				
一般会計			市民活動に対する支援が充実していると答えた割合(%)	13	10	4,414	1,179	1,976				
2	08	女性団体育成支援関係事業		322-208-63	社会教育課	0	0	1,323	中	○	⇒	
独自		各団体の連帯を深め、世代間交流を通じた担い手作りとリーダー育成を図り、地域において活動していく。	女性団体関係事業数(事業)	17	20	0	0	1,323				
一般会計			加入団体数(団体)	5	8	0	0	1,976				
2	09	地域リーダー育成事業		322-209-12	総合政策課	207	0	4,281	高	◎	⇒	
独自		地域の課題や現状認識の共有化を図りながら、課題解決策を見出し、その実施に向けて計画を練るといった講座の取り組みを通じ、地域づくりのリーダーを育成する。	平均参加者数(人)	34	40	173	0	4,281				
一般会計			講座で学んだことを地域づくりに活かしているかと答えた割合(%)	85	90							
合計						34,148	2,787	14,399				
						23,590	2,753	15,878				
						17,829	2,945	15,065				

H26 実施

施策評価

施策コード	担当課名	
323	社会教育課	

【施策の概要】

施策体系	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち		
	政策	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る		
	施策名	3	市民が輝く文化芸術の振興		
基本方針		伝統文化の継承や文化財の保護を通して、ふるさとの歴史や文化に対する理解を深めることにより郷土愛を育みます。また、文化芸術の鑑賞や創作等に関わる機会を提供することにより、感性豊かな人材の育成に努めます。			
施策展開	1	伝統文化の継承とふるさと意識の醸成	4		
	2	創造的文化芸術活動の推進	5		
	3		6		

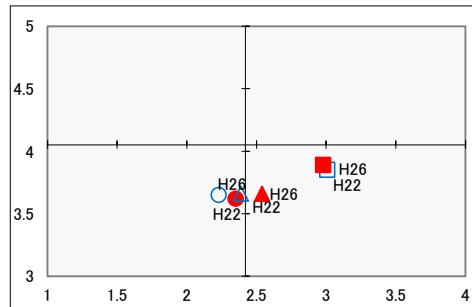
【目標指標】

指標名		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H32 目標	指標の説明
新庄市芸術祭参加者数(人)	実績	1,661	1,303	1,177	1,114	1,106			2,000	実行委員会発表
	達成率	83.1%	65.2%	58.9%	55.7%	55.3%				
伝統文化が受け継がれていると答えた割合(%)	実績	55.2	45.5	46.6	46.6	46.7	44.7		60	まちづくり市民アンケート
	達成率	92.0%	75.8%	77.7%	77.7%	77.8%	74.5%			
	実績									
	達成率									

【まちづくり市民アンケート】

①	文化・芸術活動が充実している	●
②	文化財が保存・整備され、活用されている	▲
③	伝統文化が受け継がれている	■

縦軸：重要度



横軸：満足度

【分析・評価】

第一次評価 (担当課)	目標指標分析	市芸術祭参加人数は、参加団体会員の高齢化により会員数が減少したため。伝統文化の継承達成度については、今年度は下がった。	構成事務事業の 適切性	適当である。
	施策実現に向けての課題	文化団体の会員数の増加。	今後の施策の 取組・改善策	今年度は、芸術祭50周年を向え、記念事業を展開している。これを機会に文化団体活動の充実を図っていく。 伝統文化の継承や文化財の保護に対して、必要な経費は市が負担していく。
	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 成果向上	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 成果縮小
第二次評価 (第二次評価会議)	総合評価	一次評価のとおり		

【施策を構成する事務事業 11】

施策展開	事業番号	事務事業名		事務事業コード	担当課	H26予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
						事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H25実績値	目標値	H25決算(単位:千円)			予算配分の方向性の判断要因 (△、◇、×の場合のみ)			
			成果指標	H25実績値	目標値	事業費	特定財源	人件費				
1	01	ふるさと歴史センター事業		323-101-63	社会教育課	9,725	300	2,802	中	○	⇒	
独自		生涯学習機会の提供と、新庄市のまつり・郷土の考古・歴史・民俗・芸術文化の伝承と公開を通して文化芸術の振興を図る。	企画展等事業数(件)	8	9	17,903	0	2,802				
一般会計			事業期間中の入館者数(人)	11,314	14,000	4,525	0	1,729				
1	02	ふるさと歴史センター管理事業		323-102-63	社会教育課	24,386	3,396	3,658	中	○	⇒	
独自		施設の維持管理	開館日数(日)	310	300	24,214	2,496	3,658				
一般会計			入館者数(人)	11,314	17,000	22,868	4,656	2,634				
1	03	国・県指定文化財管理費補助金		323-103-63	社会教育課	131	0	623	中	○	⇒	
独自		優れた文化遺産を後世に残すために、国や県から指定された文化財の維持管理費の一部を助成する。	支援文化財数(件)	2	3	161	0	623	国指定の鳥越八幡神社の整備の方向性について、整理しておくべき。			
一般会計			維持管理された文化財数(件)	2	3	131	0	494				
1	04	重文旧矢作家住宅管理事業		323-104-63	社会教育課	2,674	0	1,712	中	○	⇒	
独自		優れた文化遺産を後世に残す。	旧矢作家管理委員会の開催数(回)	2	2	2,849	0	1,712				
一般会計			旧矢作家住宅の見学者数(人)	1,257	1,600	2,645	0	2,634				
1	05	ふるさと歴史センター資料収集、保存、調査研究事業		323-105-63	社会教育課	30	0	2,413	中	◎	⇒	
独自		収蔵資料の適切な保存管理・調査研究	収蔵資料整理従事者数(人)	141	144	30	0	2,413				
一般会計			民具カード作成数(件)	342	1,000	30	0	1,729				
1	06	民話普及事業		323-106-63	社会教育課	156	0	2,413	中	○	⇒	
独自		先人の知恵の結集ともいえる民話を通して、地域の自然・歴史・文化を守り、伝承していく。	語り実践学校(校)	5	9	126	0	2,413				
一般会計			語りの日観客数(人)	320	800	144	0	1,729				
1	07	文化財保護管理事業		323-107-63	社会教育課	35,602	13,899	778	中	▲	◇	
独自		優れた文化遺産を後世に残す。	市文化財保護審議会の開催回数(回)	1	1	15,855	8,043	778	戸沢家墓所保存修理事業が26年度で完了する。			
一般会計			国の文化財(戸沢家墓所、八幡神社)への見学者数(人)	45,000	55,000	1,574	0	1,317				
1	09	国文化財指定登録事業		323-109-63	社会教育課	273	0	1,712	中	◎	↗	
独自		優れた文化遺産を後世に残していくこと。	調査活動数及び例会開催数(回)	0	4	431	0	1,712	名勝「おくのほそ道の景勝地(本合海)」の保存管理計画策定事業を27年度に実施する。			
一般会計			国の文化財指定・登録数(件)	1	4	311	0	906				
2	01	市民文化会館管理事業		323-201-63	社会教育課	63,438	0	1,090	中	○	⇒	↗
独自		市民の文化芸術振興を目的としている。	利用者数(人)	101,225	90,000	55,773	0	1,090	耐震工事の開始による			
一般会計			施設稼働率(%)	45	42	48,346	0	1,482				
2	02	子ども芸術学校事業		323-202-63	社会教育課	800	0	1,790	中	○	⇒	
独自		子どもたちに表現活動の楽しさを体験させ、文化芸術に親しむ素地を培う場となることを目的とする。	延べ開催学習回数(回)	99	140	800	0	1,790				
一般会計			受講者数(人)	50	70	600	0	1,976				

【施策を構成する事務事業 11】

施策展開	事業番号	事務事業名		事務事業コード	担当課	H26予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性		
						事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)	
事業区分	会計	目的	活動指標	H25実績値	目標値	H25決算(単位:千円)			(1次評価) 予算配分の方向性の判断要因 (△、◇、×の場合のみ)				
			成果指標	H25実績値	目標値	事業費	特定財源	人件費					
2	03	山形県総合美術展覧会巡回展		323-203-63	社会教育課	446	0	311	中	○	⇒		
独自	市民が文化芸術活動に参加できる機会をつくり、自主的な活動を支援し、豊かな心の育成を図る。	展示作品数(点)	233	195	446	0	311						
一般会計		入場者数(人)	1,470	1,500	446	0	494						
合計						130,554	16,485	19,302					
						118,588	10,539	19,302					
						81,620	4,656	17,124					

H26 実施

施策評価

施策コード	担当課名	
331	社会教育課	

【施策の概要】

施策体系	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち		
	政策	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する		
	施策名	1	多様なニーズに応える生涯スポーツの振興		
基本方針	市民一人ひとりが日常生活の中で目的や志向に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しめる社会を実現するため、ニーズに応じたスポーツイベントの開催や、スポーツプログラムの提供を行い、健康で豊かな生活が送れる環境をつくります。さらに、適切な施設運営、整備を進め、誰もがスポーツに親しめる環境の整備を図ります。				
施策展開	1	多様なスポーツ機会の提供	4		
	2	総合型地域スポーツクラブの充実	5		
	3	スポーツ施設の充実	6		

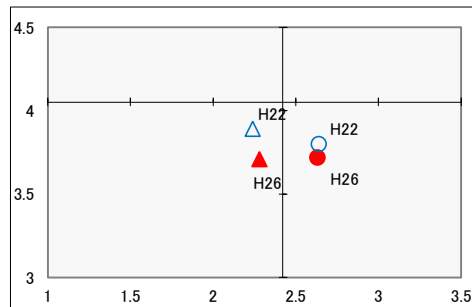
【目標指標】

指標名		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H32 目標	指標の説明
総合型地域スポーツクラブ会員数(人)	実績	341	429	435	470	436			550	新庄21地域スポーツクラブ
	達成率	62.0%	78.0%	79.1%	85.5%	79.3%				
スポーツ活動が盛んであると答えた割合(%)	実績	35.4	29.1	29.0	28.2	30.1	26.6		50	まちづくり市民アンケート
	達成率	70.8%	58.2%	58.0%	56.4%	60.2%	53.2%			
	実績									
	達成率									

縦軸：重要度

【まちづくり市民アンケート】

①	スポーツ活動が盛んである	●
②	スポーツ施設が充実している	▲
③		■



横軸：満足度

【分析・評価】

第一次評価 (担当課)	目標指標分析	総合型地域スポーツクラブ会員は概ね固定されており、新規会員はあまり増えていない状況にある。そのため、目標人数に対して微増・微減の状態である。	構成事務事業の 適当性	施策の実現に向け、実施している事務事業は適当である。
	施策実現に向けての課題	市民参加型スポーツイベントを開催しているが、大会において体育協会や各種競技団体などと連携しながら参加者ニーズにあった、より充実した運営ができるよう推進していく。	今後の施策の 取組・改善策	市民からの要望が強い体育施設の改修や修繕など安全を重視し、計画的に整備を図る。
	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 成果向上	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 成果縮小
第二次評価 (第二次評価会議)	総合評価	一次評価のとおり		

【施策を構成する事務事業 13】

施策展開	事業番号	事務事業名			事務事業コード	担当課	H26予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
		事業区分	目的	活動指標			H25実績値	目標値	事業費			特定財源	人件費
会計	成果指標				H25実績値	目標値			H25決算(単位:千円)			予算配分の方向性の判断要因 (△、◇、×の場合のみ)	
		事業費	特定財源	人件費			事業費	特定財源	人件費				
1	01	市民参加型スポーツイベント開催事業			331-101-64	社会教育課	30	0	1,557	高	◎	↗	⇒
独自	夢と感動を与えスポーツの振興を図る。	大会実施回数(回)		4	2	30	0	1,557	大会の実施運営において市からの負担金等支出を検討する必要がある。 (二次評価)地域の健康を考える上で、重要な部分であるがイベントの数や内容については検討が必要。				
一般会計		クリテリウム・スポーツクリエイション祭・ゴルフ・いものこマラソン参加者数(人)		1,061	600	30	0	2,387					
1	02	(一財)新庄市体育協会運営費補助金			331-102-64	社会教育課	11,648	0	700	高	◎	↗	⇒
独自	市におけるスポーツを振興し、市民の体力向上とスポーツ意識の高揚を図る。	加盟団体数(団体)		24	30	5,731	0	700	各種競技団体の強化を図ることにより競技力の向上に貢献する。 (二次評価)新庄市体育協会との物の権利や保険のあり方などについて整理を行わなければならない。				
一般会計		体育表彰者数(個人・団体)(件)		55	100	6,288	0	1,399					
1	03	新庄市総合体育大会委託事業			331-103-64	社会教育課	848	0	623	高	○	⇒	
独自	市民の体力と競技力の向上を目指し、各競技のスポーツ振興を目的とする。	大会種目数(種目)		15	17	848	0	623					
一般会計		大会参加者数(人)		1,796	2,500	848	0	494					
2	01	総合型地域スポーツクラブ育成事業			331-201-64	社会教育課	0	0	778	高	◎	⇒	
独自	市民がスポーツ活動に参加する場を提供する。	新庄21地域SC短期教室の参加者数(人)		47	100	0	0	778					
一般会計		新庄21地域SCの年度末会員数(人)		436	550	0	0	906					
3	01	市体育館管理運営事業			331-301-64	社会教育課	21,727	4,000	700	高	○	⇒	
独自	スポーツを行う場を市民に提供し、競技スポーツ力の向上、市民の健康増進など地域のスポーツ振興を図る。	利用団体数		1,830	2,000	24,208	3,839	700					
一般会計		利用者数(人)		51,108	55,000	22,343	3,581	576					
3	02	市民スキー場管理事業			331-302-64	社会教育課	30,593	4,800	934	高	○	⇒	
独自	市民一人ひとりが楽しめる、親しめるスポーツライフの実現を図る。	開場日数(日)		68	70	29,441	4,444	934					
一般会計		利用人数(人)		12,002	15,000	27,706	3,880	576					
3	03	市民球場管理事業			331-303-64	社会教育課	22,754	2,500	700	高	○	⇒	
独自	一人一人に応じた夢と感動あるスポーツライフを実現する。	開場日数(日)		292	350	21,686	2,294	700					
一般会計		利用人数(人)		28,247	37,000	22,276	2,315	576					
3	04	武道館管理事業			331-304-64	社会教育課	5,557	1,100	700	高	○	⇒	
独自	誰もが生涯にわたり、スポーツに親しむことができる豊かなスポーツライフを送るため。	開館日数(日)		335	350	5,957	1,219	700					
一般会計		利用人数(人)		16,775	16,000	6,163	1,193	247					
3	05	屋内ゲートボール場管理事業			331-305-64	社会教育課	757	0	778	中	○	⇒	
独自	誰もが生涯にわたりスポーツに親しむことができる豊かなスポーツライフを送るため。	開場日数(日)		293	310	716	0	778					
一般会計		利用人数(人)		2,522	3,800	753	0	576					
3	06	市民プール管理運営事業			331-306-64	社会教育課	4,117	668	856	高	○	⇒	
独自	誰もが生涯にわたりスポーツに親しむことができる豊かなスポーツライフを送るため。	開場日数(日)		37	35	3,711	676	856					
一般会計		総利用人数(人)		6,272	7,000	3,397	693	412					

【施策を構成する事務事業 13】

施策展開	事業番号	事務事業名		事務事業コード	担当課	H26予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
						事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H25実績値	目標値	H25決算(単位:千円)			(1次評価) 予算配分の方向性の判断要因 (△、◇、×の場合のみ)			
			成果指標	H25実績値	目標値	事業費	特定財源	人件費				
3	08	その他体育施設管理運営事業		331-308-64	社会教育課	6,411	691	700	高	◎	⇒	
独自	一般会計	テニス・ソフトボール・相撲などの競技スポーツの向上と幅広い年代の健康増進を目的とする。	開場日数(日)	190	220	6,261	957	700				
			利用者数(人)	15,875	14,000	6,163	902	412				
3	09	市体育施設整備事業(全体)		331-309-64	社会教育課	205,996	125,100	1,790	高	◎	↗	
独自	一般会計	誰もが生涯にわたり、スポーツに親しむことができる豊かなスポーツライフを送るため。	修繕実施箇所数(箇所)	43	20	47,816	0	1,790	体育館、武道館など耐震診断による補強工事や陸上競技場やテニスコートなど体育施設の老朽化に伴う計画的な整備が必要であるため。			
			全施設利用者総数(人)	146,503	150,000	49,455	0	2,964				
3	11	山屋セミナーハウス管理事業		331-311-64	社会教育課	21,076	1,542	3,814	高	◎	⇒	
独自	一般会計	競技スポーツの向上、強化を行う際の拠点となる宿泊施設を目指す。	開場日数(日)	344	347	60,362	40,333	3,814				
			利用者数(人)	13,493	8,000	15,160	1,535	4,775				
合計						331,514	140,401	14,630				
						206,767	53,762	14,630				
						160,582	14,099	16,300				

H26 実施

施策評価

施策コード	担当課名	
332	社会教育課	

【施策の概要】

施策体系	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち		
	政策	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する		
	施策名	2	新たな活力を生み出す競技スポーツの振興		
基本方針	トップレベルの大会で地元選手が活躍することは、応援する市民の活力となり、地域の活性化にもつながります。関係団体との連携強化により、選手や指導者の育成を図るとともに、全国規模の試合の誘致に努め、競技力の向上を図ります。				
施策展開	1	選手の確保・育成	4		
	2	指導者の育成・支援	5		
	3		6		

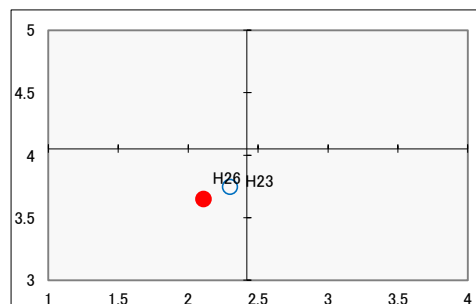
【目標指標】

指標名		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H32 目標	指標の説明
新庄市体育表彰者数(個人・団体)(組)	実績	44	50	55	54	55			55	東北・全国大会に出場又は県大会に優勝し、新庄市体育表彰基準に基づき表彰された個人・団体数(社会教育課調べ)
	達成率	67.3%	90.9%	100.0%	98.2%	100.0%				
日本体育協会公認スポーツ指導者数(人)指導員・上級指導員・コーチ・上級コーチ・ジュニアスポーツ指導員・スポーツリーダー	実績	24	24	27	34	48			36	山形県体育協会調べ
	達成率	66.7%	66.7%	75.0%	94.4%	133.3%				
	実績									
	達成率									

縦軸：重要度

【まちづくり市民アンケート】

①	スポーツ競技力の向上が図られている	●
②		▲
③		■



横軸：満足度

【分析・評価】

第一次評価 (担当課)	目標指標分析	新庄市体育表彰者数及び日本体育協会公認スポーツ指導者数については、目標値を達成している。	構成事務事業の 適当性	第6期県縦断駅伝競走大会新庄最上チーム強化対策事業(平成26年度まで)実施され、さらなる陸上競技(長距離)の強化を図りながら地域のスポーツ全体の競技力の向上を目指す必要がある。
	施策実現に向けての課題	陸上競技は、全てのスポーツの基本となるため、陸上競技の普及と底辺拡大を図り、市民のスポーツ活動への意識を高める。	今後の施策の 取組・改善策	スポーツ競技力の向上は新たな活力を生み出すため、これからも小中高一般の強化対策及び底辺の拡大を図る。
	成果の達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 成果縮小		
第二次評価 (第二次評価会議)	総合評価	一次評価のとおり		

【施策を構成する事務事業 4】

施策展開	事業番号	事務事業名		事務事業コード	担当課	H26予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
						事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H25実績値	目標値	H25決算(単位:千円)			(1次評価) 予算配分の方向性の判断要因 (△、○、×の場合のみ)			
			成果指標	H25実績値	目標値	事業費	特定財源	人件費				
1	01	山形県縦断駅伝競走大会新庄・最上チーム強化事業		332-101-64	社会教育課	8,717	5,979	2,958	高	◎	⇒	
	独自	山形県縦断駅伝競走大会において、上位入賞を果たし、市民に勇気と感動を与える。	強化練習(合宿)回数(回)	3	7	7,937	6,055	2,958				
	一般会計		山形県縦断駅伝競走大会のチーム順位	8	3	8,187	5,506	3,787				
1	02	陸上競技長距離強化事業		332-102-64	社会教育課	245	0	1,479	高	◎	⇒	
	独自	陸上競技の普及・底辺拡大(競技者)と県ジュニア駅伝大会において上位入賞を果たすことを目的とする。	新庄ロードレース大会の参加者数(人)	333	1,000	245	0	1,479				
	一般会計		県市町村対抗ジュニア駅伝大会の新庄市チーム(男女)順位・上位順位の方	4	6	245	0	1,646				
1	03	(社)山形県スポーツ振興21世紀協会負担金		332-103-64	社会教育課	1,064	0	233	低	▲	⇒	
	独自	県内の一流選手の活躍と彼らとのふれあいによって、県民(市民)のスポーツ振興を図る。	協会歳出決算(百万円)	1,024	1,000	1,064	0	233				
	一般会計		都道府県対抗女子駅伝大会の山形県チーム順位(位)	6	10	1,064	0	247				
2	01	スポーツ指導者活用事業		332-201-64	社会教育課	620	0	2,724	高	○	⇒	
	独自	スポーツ基本法で設置が義務付けられているスポーツ推進委員の指導力を向上させ、市民スポーツの普及振興を図る。	研修会への参加数と独自研修会の開催数(回)		12	498	0	2,724				
	一般会計		県研修会等の受講者数(人)		70	303	0	2,140				
	合計					10,646	5,979	7,394				
						9,744	6,055	7,394				
						9,799	5,506	7,820				